



～シーズン2「清シス・アピール」

エピソード 13 : 間にいる時期

しすてむ♥きよたけ

ごあいさつ

開いてくださった方、ありがとうございます。
ます。

何！？と思い開いた方が多いのでは？と
思っています。何を書いているのか不明と
しか言いようがないタイトル。このタイト
ル、僕の看板名です。

と言いつつ、何屋と決めていないと言いま
すか、「清武という存在がシステムを扱
う」、いや、「扱おう」と試みている最中の
仕事をしています。相手側と自分の間で起
こることに焦点をあて、システムを扱うこ
と。そして、それらにより、現場の「促進
剤」になれるといいな～と思っています。
結局、「促進剤」なんです。

とはいえ、まだまだ何者でもございませ
んので、仕事のことを綴ってみたり、僕は、
基本的に日常生活で起きていることが好き
なので、それと僕の現状を合わせ綴ったり
しています。

よくわからないけど、覗き見のような気
持ちで読んでいただけると、いいかもしれ
ません！

僕、結構役に立つんですけど、わかりに
くいし、どうやら、自分が思っている自分
と他者から思われる自分に乖離がありそう
なんです。言い換えれば、まだ、役に立っ
ているポジションには、いてません！

それでは、引き続き、読んでいただけると
幸い。これまでお目を通しいただいてい
る方も、改めてよろしくお願いいたします。

★☆今回のお品書き☆★

おつきだし Part1. 貧乏フリーランス

1.-1 二拠点貧乏撤退！

1-2 拠点が契約困難事件

1-3 顔見知り

1-4 騙される暇はあっても金はナイ！

おつきだし Part2. ハラハラ

- 2-1 男子学生とおじさん
- 2-2 無理だけどヤレとかクソ喰らえ
- 2-3 ひやっとする空間
- 3-3 生産性以外が生むこと

おつききだしPart1.貧乏フリーランス

商店街から抜け、電車で綴ってます。前回の続きは、後半に。

只今～奮闘中。気をつけてお降りください。降りた矢先から事件です。

1.-1 二拠点貧乏撤退！

僕は、2015年？～金沢と東京に拠点を置いていたが、最近、東京一本にした。

東京では共同生活。いわゆる「シェア」だ。しかし、何をシェアしているのかわからない状況だった。もちろん、家をシェアしているのだが、それだけではない。暮らしを共有してるから、様々なことを「シェア」するのは想定内のことだ。だから、一定の基盤、システムがなければ、暮らしの中に困難は起きるものだろう。

例えば、入居後に他の住人が出て行く時に知ったこと…。人数が減ると賃料が上がる。また、自分が退去する時には、他の人が見つかるまで、賃料を支払い続けなければならないこと。

住んでいた期間、出たいタイミングはそれなりにあったものの、上記システムに知人を入居させ、自分が出て行くことはできない…と思い、1年半ほど、そこを拠点にしながら、金沢にも…という生活をしてい

た。どちらでも、行った先でできることをして行こう、そう思ったので、住み続けたのだった。

しかし、システムやそれについての話し合いの無さ、揉め事の根本がシステムにあることを思い、退去をすることにした。この議題や暮らし続けるには困難であること自体を「シェア」することができなかったのだと思う。あえて、記載したいのは、住人個々人の課題だとは思っていない。枠組がないからこそ、個々人に矢が向きやすいことだってあるから、矛先を個人にあてる気はさらさらしないのだ。

重ねていう話しになるが、「シェア」をするにもシステム（仕組みや基盤）がなければ、もしくは、創って行こうとする状況は大事なだろう。たとえば、僕が、そうした方がいいと思ったとしても、その理由が「シェア」されていなければ、具体的にはならない。無論、「シェア」はされなかった結果だったのだとも思うので、僕の失敗例としても提示できるのかもしれない。もしかすると、ここで僕が言っている「シェア」とは、「交歓」であり、前述に「創って行こうとする状況」と言っているくらいだから、「シェア」には「創造」が含まれているのかもしれない。

東京に拠点を絞ったので、さて、金沢の家は？と思うだろう。一度、これまでの働き方、いや、働き方の整理をしたく、金沢の家も引き払うことに。そうして、いまでは、拠点は東京のみになったのだ。

シンプルにした方が、自分にとっていい。

自由である気がしたのだと思う。自分で決め、できることをする。この数年、そうしかたつたのだと思う。二拠点あると、動く制限があり、仕事が舞い込んでも自分の思うように動けない。自分に基準がないがゆえに、相手の状況に引き寄せられることが多くなっていた。

結果的に僕の存在はたまに来るイベントのような出来事に見えてしまう。それは、僕も相手側も望んでいないのだと思う。毎回、お祭りがあっては、その都度その都度準備が大変だ。それを思うと想像しやすいかもしれない。

多くの仕事事情は、時間や役職など決まりがあるので、それに当てはまらない場合、お金を稼ぐことに辿り着きにくい経験をしてきたのだと思う。次のステップ、僕の意図も伝わりにくくなることも含めて。

正直、フリーランスを辞めると言うことも一つの手だと思った。だが、これまで、何か一つだけの仕事に特化した経験はない。なんなら、就職とアルバイトの違いすら分からないから、就職しないだなんて決めて進んだ過去があるくらいだ。だから、今更、就職を…と考えもせず…フリーランスになって3年目で気づいたことを活かす3年目にしよう。続行することにした。

1-2 拠点が契約困難事件

さて、拠点を一つにするにも困難があった。「事件です！」と言いたくなるほど、なかなか新居を借りれない状況に直面した。

そもそも、1週間もしない間に引っ越しを考えていた…という短期間だったことがネックだったと思う（これには、様々な限界を迎えていた…詳細はカット！）。かつ、僕は、個人事業主であり、書類を揃える必要がある。所得が分かる物の提示だ。書類は、もう一つ置いていた家（この時期、金沢拠点を引き払う前）は、金沢市内。希望時期に書類を間に合わせられるわけ無し。

これらは、二拠点フリーランスをしている中で、起きた体験だった。加えて、何のフリーランスなのか、分からないことが引っかかっていたのもあった。対照的な例を出すならば、国家資格の持ち主。話が早いこともある。「支払い=職」の有無に通じるので、「家賃の支払い可能」と見なされ、物件を押さえやすい場合もあるのだ（不動産やオーナーによりけりだが）。

上記体験は、個人的に面白かった。しかし、そうとも言えない。社会的に属していることは理解されても、曖昧であるがゆえに相手側も曖昧な約束しかできない事実を目の当たりにした、ちょっと大変やーんという体験でもあった。

フリーランスとか所属など関係なく、他にも、連帯保証人でなく、保証会社と契約が必要だったり、不動産が直接オーナーとやり取りを交わしておらず、間に管理会社が入っている、など、そんな体験もあった。結局管理者の顔は見えなければ、同じ物件を扱っている不動産が何件もあるなんてザラ。決まるまでに時間がかかる、かかる。

誰と繋がっているのかわかんねーって思

うことも最近では多い（昔からそうで、僕の年齢や社会的役割、所属が変わったからかもしれないが）。例えば、連帯保証人が、遠方だと、連帯保証人になってはもらえず、保証会社を通すことや、連帯保証人の年齢が65歳以上であれば、やはり、保証会社を通し、審査が行われるので誰と繋がっているかなんて、もはや会社という箱物と繋がってます、と言いたくなる。

でも、全て、家族が担っていくものだ！という訳でもないとも言える時代になっているように思う。

試行錯誤動いていると、ま〜最近の不動産事情がわかるわ〜。一刻も早く、脱出したいと思っていたものの、社会事情を知れ、システムに働きかけられるような存在になろうと思っている僕にとっては、ちょっと楽しかった。

1-3 顔見知り

「楽しかった」と言えるのも、もしかすると、別の動きをしている不動産を知っているからかもしれない。

福岡市内で不動産経営をしている親戚がいる。僕とは違って、バリバリのやり手。大きい会社ではないと思うのだが、よく考えているんじゃないのかな？と思う人たちだ。

昔からある地元密着で、オーナーと賃借者の顔を知り、賃借者の経済状況も踏まえ、物件を提案していたりしているようだ。また、相続なんちゃらとか、それらに関わる

コンサルタントをしていたりだとかしているようだ。

僕は、家を継承していく人たちがいなくなるこことが増えていると感じているので、これを通し、彼らの仕事は、老化に伴う暮らしの移行を会社を続けていくうちに扱っていくようになった人たちだと思っている。

フリーランスをしていると何をしている人が、家族にいるのかも知って行くものですね…というか、自分が何かわからずとも動いているから、ひとまず、ぶつかる事も一般的ではない可能性もあり、だからこそ、知り得る他者の仕事、ひいては、一般的な仕事を知ることもあるのだな〜と思ったのだった。

1-4 騙される暇はあっても金はナイ！

さてさて、不動産事情をいろいろと聞いてみると…僕があちこち振り回されたり、決定までに時間を要したのには事情があった。その理由は、間口を広げている業界が、増えていることが見えてくる。だが、こればかりは、素人の賃借者には、分かりにく〜い!!!でも、僕が、こんな体験をしたのは…今に始まったことではないので、苦笑だった。

数年前、オトリブッケン的に出されている不動産にもあたったことがあった。一旦、物件を押さえさせるためにお金を支払わせる。でも、実は、その物件は、他の物件を紹介するためにおいている物件。他の(少々値段があがる)賃貸を案内されます。ウケる。

この時も不動産会社を経営している親戚に「なんか変じゃない！？腑に落ちない。」と話した。すると、「オトリ」と言うのもあると教えてもらった。

お金！！もちろん、「オトリ」にはなんの契約も交わしていないので、返金してもらった。「おかしくないですか？返せないんですか？契約してないですよ？」といった具合に。こっちは、騙されている暇はあっても、金はナインじゃ！なのだ。

ここまでの体験は、場、人、サービス、そこにまつわるお金の話し。僕は、何屋さんか決めていない。清武システムズ…。仕事の状況により、仕事以外でも非巻き込まれるように体験している。僕から、お金を取らないでください！無いから！という宣伝もしてみよう。

だからといって防衛体制にはいろいろとも思わない。何か決めて動く通常システムと同じになる。通常システムに働きかけようと思うと異質さを残しておきたい。それが、清武システムズの意図に繋がると思っている。現場の力を、そこに居る人たちと共に発揮できるのではないかと。

なかなか、分かりにくいと思う。因果関係のようにAに僕を入れると完全に理想どおりに解決します！なんて示している訳でもないのだから。

でも、僕を使ってください。新しい部品を置いてみたら、現場の循環が、変わるから！というのも、僕が遭遇していることは、通常システムではなかなか動かず、なにか

と工夫を凝らした中で起きていること。その出来事とは違う出会いの提供を現場のヒトたちと創っていきたいと思っているからです。

おつきだしPart2. ハラハラ

舞台は前回書いた、喫茶店。なんも懐かしさを感じた場所。机がゲーム機…ゲーム機が付いているテーブルがあった。そんなとこでのワンシーンをお届けしたいと思います。

前半は、学生とおじさん駅～。後半は、女子高生とおじさん駅～。パワハラ・セクハラに通じなくはない話かもしれない。

●●ハラはアカ～ン。でも、加害者にも理由があるし、社会が生み出すことだとも思う。加害は、決していけないこと。だけど、個人だけで生まれることではない。だから、事件はなくなる。社会のあり方を考えさせられるし、できるだけ、できる形で共存できたらとも思う。

さて、こちらの駅では～、加害者にならない場合もございま～す、というやり取り。和やかにリズムカルに進む、女子高生とおじさんのキャッチボール、そして、いつ●●ハラになるのか…言葉のキャッチボールに参加しない人がハラハラ…そんなことが行われる駅でございます。

そうではないことも、書いております。そして、1とは違う書きっぷりをしていきます。

2-1 男子学生とおじさん

そういえば、昼間のおじさんたちは、週刊誌や新聞を店の本棚からとっていたな。週刊誌の表紙には『SEX』『熟女』と赤字で書かれている。他にも記事はあるが、目立つのだ。また、週刊誌が店に置いてあり、それを読む行為。僕は、世代の違いを感じたのだった。

最近、週刊誌や新聞を読んで過ごしている人はなかなか見なくなった。喫茶店でなく、café に居ると。世代を感じるって、人がどこに集まって居るか。そこでの過ごし方の暗黙の了解があるってことだろう。

ただ、この時、僕が居た喫茶店の世代はバラバラ。僕は、iPad やスマホを使い、時には本を広げている。34 歳。ちょうど間世代？

もうすこし若い世代。店員に学生がいた。大学生だろう。20 代男だった。黙々とまかないを食らっていた。

「うまいだろ！」とマスターであろうおじさんが、積極的に話しかけていた。学生店員は「はい！とても美味しいです！」…って言うしかない感じ。でも、僕は、きつと美味しいだろうと思った。だって、僕が食したオムライス美味しく、腹一杯になっていたのだ。

マスターが、しきりに学生店員に話しかけていた。「皮が少しかたいか？」「身はうまいだろ？」。学生は、もぐもぐしながら、「マグロうまいです！」と。

「へ～賄いは、マグロか～」とぼんやり思っていた。店の雰囲気からは、時給は低

そうだ。しかし、飯が出る場所は、ありがたい。

知っている人は多いだろうが、アルバイトを探すとき、希望条件を絞り込め、『賄いあり』とあるほど、飯が出る働き口にニーズはあるのだ。学生、良かったな！と思った。

もし、僕が不味い店だと思って聞いていたら…学生…マジでおじさんに無理に合わせなくて良いって…おじさん…自分が納得するように言いなさんな！と思っただろう…。

2-2 無理だけどヤレとかクソ喰らえ

僕は学生時代失敗体験があったからかもしれない。賄いはあったが、上手くもない。しかも、50 人の団体を一人で切り盛りしないといけない飲食店で働いたことがある。おじさん店主 「一人でやれるやろ？」「仕方ないしやって。」

僕 「無理です…」

おじさん店主 「いや、できるからやって。」

やったものの、客から何を頼まれたかも分からないから、適当に酒を運んだった！！クレームになんかならないと思っていた。【飲み放題のコース】【大人数】【呑んでくれている】この三つが見極めになっていた。甘いかもしれないが。

だが、あながち間違っていないかもしれない。頼むほうも、無理な仕事の任せ方をされる店員も適当なもんだった。『勘定が合うか否か』だけになってしまっていた。分かった僕は、幹事に全部任せた。そして、オ

ーダーを通して運ぶ係に回ったのだった。もしかすると、僕は、適当な中でも、どこかで、この流れを変えたくなったのだろう。

しかも、僕は、お酒は飲まないから、呑んでくれについては、さっぱり。分かる人に任せて、絶対にやらなきゃいけないこと、やれることを探したほうが、店が提供したい商品や品質は届けられると思った。

クソ店だと思ったけど、一人で変化の装置と売り始めた今、学生の時のバイトの経験は、良き経験だったのではないか？そもそも、置かれた場所でできることを探し、そこには、人に任せることも含めていることに気づかされる。

何かに躓くことがあっても、きっとどこかで、自分の糧になることもあるのだと思う。とはいえ、悪かったと思うこと、良かったと思うことを素直に言えないおじさんにも会う。そうならぬ様に…と意識している。意識できるだけの経験をするのも、そう悪くはないのだろう。でも、良くないことは、良くない。やっぱり癒えない思いは、残るものだ。

2-3 ひやっとする空間

席をストーブの近くに移動した。喫茶店に17時くらい？に入ってきた女子高生も19時半ころにストーブ前に。

ストーブを見た女子高生二人は、「お餅焼けるんじゃない？」と。「中学のとき、ストーブにやかんを置き、加湿のようにしていた」と。もう1人は「無かったよ。ストーブ」。「ストーブじゃなかったら、何があ

んの？」、「え？エアコン。」と。

その直後、店主のおじさんが、「こっちに座ったら？あったかいよ？」と自分の席の横を勧めていた。「えへへ」と女子高生。また、マスターは、「JKか？」女子高生は「一応」と。

1990年代に出てきたと思われるJK。ルーズソックス、ミニスカート、ガングロギャル…最近、自分の誕生日に引退を決意した安室奈美恵さん、小室哲哉さんがブームになった時代だ。

この時代に流行したものは、多かった。ポケベル、ダイアルQ2がで…テレクラ、援助交際（援交）と市場は広がった。また、今となっては、無いブルセラショップも（個人売買はある。また、性風俗店のオプションにも。性から離れている様だけど、コスプレ。これも使用済みの売買が行われているので、切り離せないとも思う）。おじさんによって、女子高生、いやJKがブランドになり、市場に回った時代が再発生した。そうしたのとも内包しているJKということば。今の女子高生は、あまり知らないのかもしれない。

店主は、「やっぱり初々しいなあ〜」と。セクハラになりそうだけど、ここではならなかった。女子高が「〇〇見えますか？」とマスターの家の近隣のことをきき、会話を継続させていたのだ。細かいことはそっちのけ。敢えて、そうしているとは思えなかったが、流し切ってしまうところが、な

んとも面白かった。しかも、マスターの兄弟話にまで発展。マスターの話をさせていたのだった。

もし、セクハラのようになりそうと思ったら、僕はもう少し過ごし、その会話に入り、別の話題にすり替えていたかもしれない（意識していないけど、そう言うことがあるらしい）。だが、そんなことは起こりそうにないと思い、席を立った。

3-3 生産性以外が生むこと

女子高生との会話に夢中の店主は、僕が「ごちそうさま」と言ったのだが、反応なし。本業を忘れていたようだったが、客と会話をするのも本業に含まれているとも僕は思う。

最近、そんなこともなく、作業的な接客は多い。その方が、効率いいし、生産性があがるしね…と思うが僕はどうも苦手だ。

会計を済ませ、外を歩くと奥におじさん2人が合席。2人とも新聞を読んでいた。もう1人、一人で食事するおじさんもいた。

いろいろな過ごし方ができる空間探し、つくろうとしている時代だと思うが、実は、昔はあったし、今もそういう場所は残っている。僕が知る限りだからわずかな話したが、だいたい、店主にクセがある。いい意味で、だ。自論があり、自分が決めてやれる範囲でやる。

どうも、これは一致しているのだ。それができないところが、一定の現場で増えているのかもしれない。僕が、これまで携わった仕事の中にはそういう現場もあった。

できれば、関わりたくないと思うのだが、そうではなく、僕の工夫として、僕が入ることで、何か決断が見つかり、個々人の力が促進されるといいな、とも思っている。これからの僕の課題だ。

綴り人/しすてむ・きよたけ

通りすがりの旅人です。 [清武システムズ](#)という看板を引っさげ、お仕事中。めんどくさいことも起きるけど、そっから面白く展開していこうじゃないか！「何か変化を求めているが、手立てがわからない。」そんな時に部品の1部だと思って、ぜひ導入を！お願いします。